

授業科目名	ボランティア活動Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	単位数	2
担当教員名	高木 由起子・渋谷 聡 秋澤 一輝	担当形態	オムニバス
実務内容 (実務家教員の場合)			
<p>「学位授与の方針」との関係 本授業は、「学位授与の方針」のうち、AからFの項目すべてに該当する。</p>			
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>(1) ボランティアを通して、共生について考えることができる(特に、ボランティアⅠ)。 (2) ボランティア活動を通して、労働意欲を高めることができる(特に、ボランティアⅡ)。 (3) 課題探求能力・問題解決能力を高めることができる(特に、ボランティアⅢ)。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>ボランティアは「自発的な意志に基づき、他人や社会に貢献できる行為」であり、活動には「自主性(主体性)」「社会性(連帯性)」「無償性(無給性)」等として捉えられている。 本学では、地域貢献というだけでなく、支え合う共生社会の一貫であると自覚し、目的を持ってボランティア活動を実施している。また、実践を通じて、課題探求能力の向上及び社会に貢献する奉仕の心の育成を育み、教育効果の向上を図ることを目的としている。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回：ボランティアとは 第2回：ボランティアの意義 第3回：ボランティアとインターンシップ 第4回：ボランティアと共生 第5回：ボランティアのあり方(1)：大学および大学生 第6回：ボランティアのあり方(2)：地域 第7回：ボランティアの留意点(1)：大学側 第8回：ボランティアの留意点(2)：地域側 第9回：ボランティア先の選定 第10回：ボランティアの申請 第11回：ボランティアの活動について 第12回：ボランティアの記録 第13回：ボランティアの振り返り 第14回：ボランティアと今後の活動 第15回：まとめ</p> <p>定期試験</p>			
<p>教科書</p> <p>特に指定しない</p>			
<p>参考文献</p> <p>(1) 厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課『ボランティアについて』</p>			

https://www.mhlw.go.jp/shingi/2007/12/dl/s1203-5e_0001.pdf

(2) 文部科学省 『青少年の奉仕活動・体験活動の推進方策等について（答申）』

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1287510.htm

学生に対する評価

活動報告書をもって総合的に評価する。